



色とりどりの春の山野草が並びました

4月19日から21日までの3日間、小貝川ふれあい公園ネイチャーセンターで「春の山野草展」が開催され、可憐な美しさを持つ山野草が来場者の目を楽しませていました。会場には、市内在住で公園などの山野草を管理する下妻市自然愛護協会（吉井弘会長）の会員35名が丹精込めて育てた山野草約300種類425鉢が展示されました。

「毎年2回、春と秋の展示会では会員の協力で、より多くの種類の山野草が展示できている。来場者には山野草を身近なものとして楽しんでもらいたい」とはほ笑む吉井会長。市内堀籠から来場した70歳代の女性は「家では趣味で鉢植えをやっています。この鉢植えを見ると、どれもきれいでとても参考になります」と話していました。

山野草の可憐な美しさ癒されて
春の山野草展



たくさんの花と来場者を心待ちに作業しました

4月6日、自治会や市内企業、ボランティア団体などから約600名が参加し、小貝川ふれあい公園の花畑で除草作業が開催されました。小貝川フラワーフェスティバルに向けて、きれいな花を咲かせようと、ポピーの新芽に気をつけながら除草作業を行い、参加者からは「自分たちで草取りをして、そこに花が咲くのは楽しみだね」などと話しながら作業する姿も見られました。

ポピーは、例年5月中旬から下旬が見頃となり、会場一面に広がる色鮮やかな花のジュウタンが訪れる人たちを迎えてくれます。

5月26日（日）には「小貝川フラワーフェスティバル2013」の開催が予定されています。皆さん、ぜひご来場ください。

満開のポピーを待ちわびながら
小貝川ふれあい公園花畑除草作業

4月6日から15日までの10日間、春の全国交通安全運動が市内各地で展開されました。今回は「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本とするほか「自転車の安全利用の推進」「全ての座席のシートベルトとチャイルドシート」の正しい着用の徹底「飲酒運転の根絶」を重点に様々な活動が取り組まれました。

4月8日早朝の街頭キャンペーンでは、下妻警察署の協力のもと、市内交通団体等の関係者や下妻一高生など80名が参加し、本宿交差点と宗道交差点の2か所で、ドライバー向けに啓発活動が行われました。

赤信号で停車したドライバーに近寄り、声をかける下妻一高の男子生徒は「安全運転をお願いします。お気をつけて」と啓発用品を手渡し、安全運転を呼びかけていました。

交通事故死ゼロを目指して
春の全国交通安全運動



安全運転を呼びかける下妻一高生たち

4月7日、下妻市商工会青年部が主催する「砂沼一周歩こう会」が観桜苑をメイン会場に開催され、桜の名所として知られる砂沼の桜を一目見ようと県内外から247名が参加しました。歩くコースは、観桜苑をスタートし、砂沼周囲の遊歩道約6キロメートル内に、3か所設けられたチェックポイントを通過し、再び観桜苑に戻ってくるもの。今年は強風のためチェックポイント通過は自己申告となりましたが、砂沼から望む筑波山や砂沼大橋、1,000本の桜をたっぷり楽しむことができ、ゴールした方には参加認定証が手渡されました。

参加者からは「風が強かったけど、家族で気持ちよく歩きました」「来年は満開の桜をぜひ見に来たい」などと感想が寄せられました。

砂沼の桜をウォーキングで満喫
砂沼一周歩こう会



ゴールして完歩賞を手にする参加者たち



歓迎の拍手のなかを笑顔で入場(総上小)



緊張した面持ちで返事をしました(千代川中)



新しい学校生活のスタート
市内各小・中学校で入学式

4月8日、暖かな春の日に市内13小・中学校で入学式が行われ、小学校で405名、中学校で453名の新一年生が新しい学校生活をスタートさせました。

このうち、総上小小学校では、新入生が上級生のお兄さんやお姉さんに手を引かれながら入場。在校生を代表して寺田英理子さん（6年）は「困ったことがあった時には何でも聞いてください。私達と一緒に安全に登校しましょう」と新入生を温かく迎えました。

千代川中学校では、篠崎浩校長から「中学校では、しっかり学習すること。友との友情を大切にすること。挑戦する心を常に持って学校生活を送ってほしい」と式辞があり、新入生はそれぞれの期待と夢を胸に抱き、新たな一歩を踏み出しました。

春の地域安全運動（4月21日から30日までの10日間）の一環として4月19日、イオンモール下妻で、下妻警察署や市内防犯ボランティア団体、下妻ご当地アイドル「しもんChu」、下妻二高などから約100名が参加し、防犯キャンペーンが行われました。

キャンペーンでは、いばらき安心・安全アンバサダー（大使）に委嘱された「しもんChu」が、防犯標語の「防犯は 鍵かけ 声かけ 心かけ」を読み上げ、今年度の自転車鍵かけモデル校に指定された下妻二高には、下妻警察署から指定書が交付され、生徒会長を務める高橋杏奈さんは「自転車やオートバイ、家への鍵かけを友達や地域に呼びかけます」と防犯宣言を行いました。

強い防犯意識で安全確保
春の防犯キャンペーン



防犯宣言を行う下妻二高の高橋生徒会長



下妻の歴史に触れる春のイベント
多賀谷時代まつり

4月14日、下妻市役所本庁舎西側の多賀谷城跡公園で、今年で7回目を迎える「多賀谷時代まつり」が開催され、桜の花が舞い散る会場には県内外から約4,000人が訪れ、下妻の歴史に触れる春のイベントを楽しみました。

会場では、今から約500年前、下妻を拠点に活躍していた戦国武将の多賀谷氏にあやかり、甲冑姿での火縄銃の砲術演武や武者大名行列など、勇ましい戦国の武者絵巻が映し出されました。特設ステージでは、おはやしや大正琴の演奏、県警音楽隊による演奏などが行われ、万燈神輿や山車も練り歩きました。

鉄砲を初めて見た中島君斗さん（下妻小6年・長塚）は「鉄砲を打つ音がすごく大きくて、迫力がすごかった」と話していました。